

人・暮らし・地方が原点。

参議院議員「次の内閣」総務大臣

野田
くによし

国政レポート
[号外]

2022年 秋季号



疑問と不安が多い!

◎誰がバイパス建設を依頼したのか?

当初、期成会などは存在していなかった!?

◎朝の渋滞発生は?

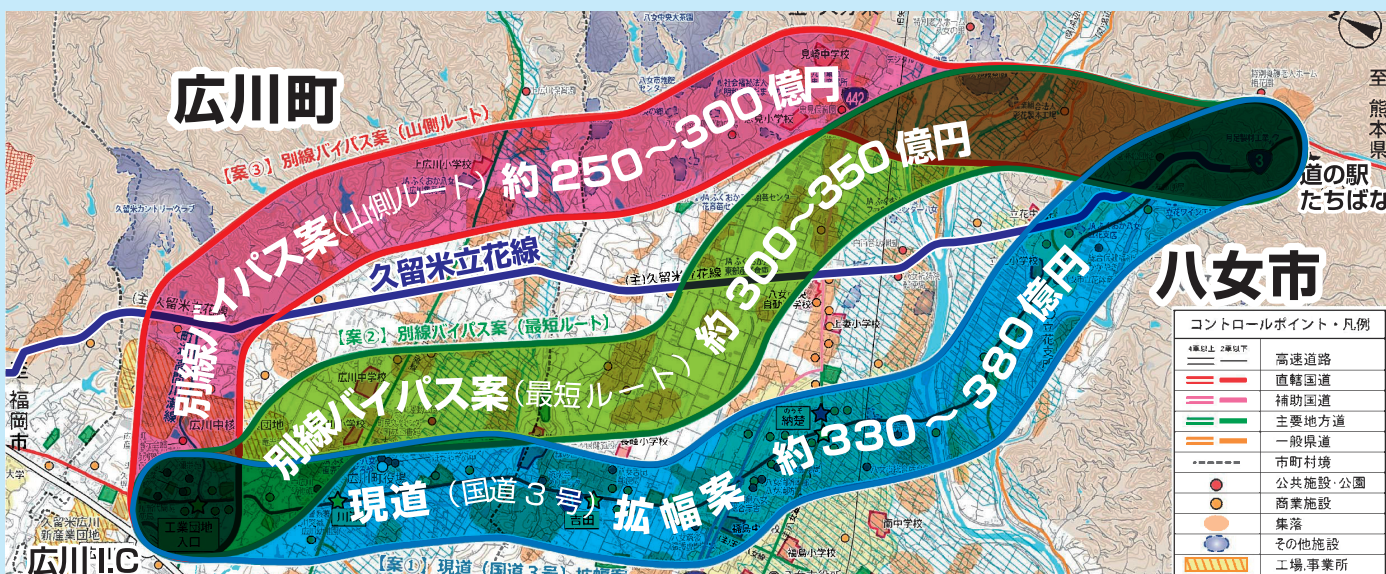
広川インターから久留米方面へ!

◎国の事業とは言っても...

県の負担分は30%にも!

資材高騰で
建設コスト高となる
懸念もある!

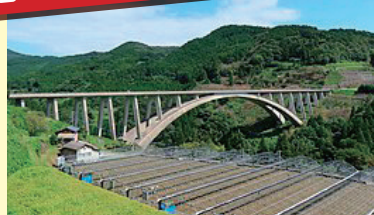
- 別線バイパス案 (山側ルート)** 山間部に沿って集落や市街地、災害想定区域を可能な限り回避し、交通量の分散を図る案
- 別線バイパス案 (最短ルート)** 最短ルートを基本に商業・公共施設を可能な限り回避し、交通量の分散を図る案
- 現道 (国道3号) 拡幅案** 国道3号を4車線に拡幅し、交通容量の拡大を図る案



2019年11月に検証が始まった3つの案
バイパス(山側ルート)案を推し進めようとする**国交省の思惑**が見えてきた!!!

※国土交通省の資料をもとに作成

思い出してください!



龐大橋 (おぼろおおはし: 福岡県八女市上陽町下横山、通称: 誠橋)

2002年3月竣工、旧上陽町(現八女市)道下横山東西線として、当時、県代行制度を利用して福岡県の事業として橋自体は完成。しかしながら、前後に接続する道路は大部分が未整備のまま事業はストップしました!「現在、1日どれだけの交通量があるのでしょうか?」

**本当に必要なものですか?
税金だから良いのですか?
ムダな公共工事の典型ではないでしょうか!**

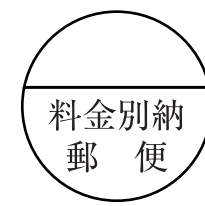
野田くによし事務所

[八女]
〒834-0031 福岡県八女市本町 2-81
Tel:0943-24-4630 Fax:0943-24-4631

[東京]
〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院会館 323 号室
Tel:03-6550-0323 Fax:03-6551-0323



立憲民主党 kuniyoshinoda 参議院審議中継動画 facebook にて配信中



料金別納郵便
タウンプラス

八女市・広川町に
お住まいの皆様へ

本当に広川・八女3号線バイパスは 必要なのか?

Q

※QA は会議録からの要旨抜粋

**国土交通委員会2019年6月6日
「一般質疑」にて質問**

- 誰が要望したのか?
- 現在の状況は?



**国土交通委員会
2019年11月5日
「大臣所信に対する質疑」にて質問**

○国道3号線広川・八女バイパスについて
地方道・久留米立花線が完成し、必要であるなら造らなくてはならない。新たに何百億円かかる道路建設を許していったら、これだけ災害の問題も出ている中で、どれだけ予算があっても足りない。地元の一人として非常に心配している

2020年5/26と6/2にも関連質問を行っております!

野田くによしの疑問

身近な県道 生活道 側溝等 を優先

久留米・立花線が完成すれば
3号線のバイパスの役割を
充分果たすと思います

2022年9月時点

**まだまだ
未整備だ!!**

A

国土交通省の考え

政府参考人 (当時) 2019.6.6

- 交通渋滞解消のため、2018年度に国と福岡県と八女市と広川町が検討会を設置し、2018年の9月及び2019年の3月に八女市長及び広川町長より要望を受けている。
- 今年度より、概略ルートや構造の検討を行う計画段階評価に着手した。それにおいて当該区間の道路交通の課題を特定し、道路計画の概略について今後検討していく予定である。

赤羽大臣 (当時) 2019.11.5

- 概略のルートや構造について、現在検討を進めている最中であり、まだ全く決定も公表もしていない。
- 県道整備が進んでいる現状においても、国道3号広川から八女間は交通容量不足による速度低下とか交通渋滞が発生している。(野田議員からの) 御意見もあるということも今承りましたので、しっかりと私なりに検討していきたい。

新たなバイパス建設で

3号線の交通量が激減すれば
沿線の商店街の売り上げも減り
経営が成り立たなくなる!?

国道3号バイパス計画の舞台裏

最初から八女市本地区を通すことが決まっていた!?
住民の利便性より利益優先の道路

国道3号バイパス計画 これまでの主な経緯

| | |
|----------|---|
| 2018年 9月 | 八女市と広川町が共同で、国に「国道3号バイパスの早期整備についての要望書」を提出 |
| 11月 | 国・県・八女市・広川町の代表者で「広川八女地域の幹線道路に関する検討会」を開催 |
| 2019年 3月 | 「広川八女地域の幹線道路に関する検討会」で国がバイパスの概略ルート・構造等検討に着手する準備を進めることを決定 |
| 5月 | 国(九州地方整備局)が正式に、国道3号の広川～立花間の「計画段階評価」を進めることを決定 |
| 11月 | 国が渋滞緩和のため、「4車線拡幅」「最短ルートのバイパス化」「山側ルートのバイパス化」の3案を提示 |
| 2020年 5月 | 国が「山側ルートのバイパス化」を決定 |
| 6月 | 国がバイパスのルートを決めることを決定 |
| 2021年 2月 | 県都市計画審議会で委員から異論が出て審議保留となる |
| 2022年 7月 | 県と県議会が国交省道路局長に早期実現の要望書を提出 |
| 8月 | 八女市と広川町で住民説明会を開催 |
| 9月 | 県都市計画審議会で了承→今後、大臣協議から決定告示へ |

7m程の高い所を通る盛り土方式!

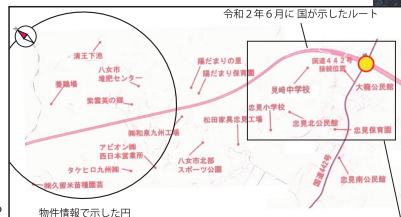
1 一個人の希望通りのルートに決定!?

このバイパス計画は、今から10年以上前に、八女市本地区在住の不動産ブローカーA氏が工業団地を誘致し開発したい地域にバイパスを通すよう、市長に要求したのが始まりです。

その後、本地区の土地買収を進め、農業委員会の許可も得ないまま大規模な造成を続けていますが、農業委員会もそれを知りながら手を出せずにいるようです。

国は、2020年5月に国が山側を通るバイパス建設を決定し、同6月に今回のルートを確認しました。

その結果、A氏が市長に要求した通り、本地区の真ん中を通ることが決まりました。



A氏は、工業団地建設目的で農地を造成中

2 八女 その煽りを受け、八女市忠見大籠の集落を分断。

当初から、バイパスが本地区を通ることを前提に進められたため、延長線上にある忠見地区を横断することは避けられないことは分かっていた。しかし、計画が極秘で進められていたため、八女市はそのことを住民に伝えていませんでした。

2020年夏、忠見地区の住民に、バイパスが通ることが知られます。バイパスは盛り土で集落を分断し、見崎中学校の真横を通過していくことが分かりました。ということは、忠見地区の住民の意見を聞くこともなく、八女市は「市民の総意」として県に都市計画決定の要望を提出し、手続きを進めていったことになるのではないのでしょうか。



集落を分断するルート

3 広川 上広川小の建て替えの真相は!?

2019年4月に実施された広川町の町長選挙の集会において、候補者が「バイパスを上広川小学校に通して建て替える」と話したのを、多くの町民が聞いています。建て替え費用は最低でも30億円、国道建設の費用は全て国と県が負担し、町の手出しはありません。1994年竣工のまだ使える学校を故意に壊し、新たにハコモノを作るのだとすれば税金の無駄遣い、国民と県民を裏切る行為ではないでしょうか。



4 本当に必要な国道県道の整備が先送りに!?

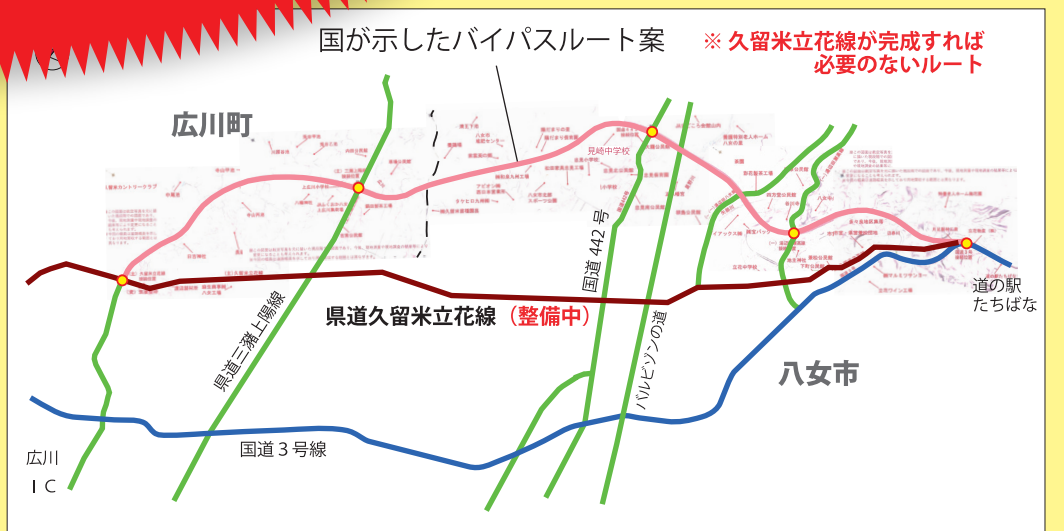
この事業費は最低でも300億円はかかり、国が200億円、県が100億円も負担をすることになっています。一方、八女市と広川町では毎年国と県に道路整備の要望を出していますが、危険箇所、狭隘な道路、過疎化が進む山間部へのアクセス向上など、まだまだ整備を急ぐべき箇所が多数あるのです。要らないバイパスに300億円使えば、それらの国道・県道の整備は後回しになります。バイパス建設を推進する理由は一体どこにあるのでしょうか。

最低でも300億円

久留米方面の渋滞解消にならないバイパスは必要ないのでは!?

八女市・広川町の皆さんは、国道3号の久留米方面への慢性的な渋滞に長年悩まされ続け、4車線拡幅化、またはバイパスによる解消を

望んできました。今回ようやく国が動いて新しいバイパスを建設する方向に進んでと思ったら、提案されたバイパス案は、整備中の県道久留米立花線と並行する「広川町日吉～八女市立花」の区間のルートでした。久留米立花線が完成すれば全く必要のないルートです。



国が示したバイパスルート案 ※久留米立花線が完成すれば必要のないルート